

事務事業評価シート

(H.28)No.	7012	(H.27)No.	7012
-----------	------	-----------	------

事務事業名	水道事業会計		
担当部局名	担当室名	室長名	
上下水道部	経営総務室	亀本 直孝	

会計区分	事業コード	007012
水道事業会計	(中事業名)※予算書事業名	
款		
項	(小事業名)	
目		

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本施策	3	快適な生活環境づくり
	施策	2	上水道
	小施策		
重点施策コード			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
持続可能で安心安全な水道サービスの提供
事業内容
名張市水道事業基本計画(水道ビジョン)に基づき、安全で安定した水の供給のため、老朽化施設・老朽管の更新・改良を進めるとともに、耐震性の向上を図ります。また、業務委託を推進するとともに、上水道・下水道部門の連携を強化するなど、経営の効率化・合理化を進めます。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.27年度(事業量・取組実績)	H.28年度(事業量・取組計画)
主な事業の実績・計画	水道事業の運営 老朽化施設・管の更新・改良、耐震化等 <H26繰越分> 資本的支出 149,273千円 <H27現年分> 収益的支出 1,748,328千円 資本的支出 1,198,656千円 <H28年度への繰越 192,895千円(工事負担金17,288千円、その他175,607千円)> <平成28年への通次繰越 256,918千円(企業債237,800千円、その他19,118千円)>	水道事業の運営 老朽化施設、管の更新・改良、耐震化等 収益的支出 1,813,953千円 資本的支出 1,917,012千円

H.29年度(事業計画)	H.30年度(事業計画)	H.31年度(事業計画)
水道事業の運営 老朽化施設、管の更新・改良、耐震化等 収益的支出 1,945,567千円 資本的支出 1,602,365千円	水道事業の運営 老朽化施設、管の更新・改良、耐震化等 収益的支出 2,109,747千円 資本的支出 1,248,541千円	水道事業の運営 老朽化施設、管の更新・改良、耐震化等 収益的支出 2,073,203千円 資本的支出 1,117,411千円

	H.27年度(決算見込)	H.28年度(作成時予算額)	H.29年度(計画予算)	H.30年度(計画予算)	H.31年度(計画予算)
①直接事業費	(149,273千円) 2,768,528千円	3,537,495千円	3,354,462千円	3,164,818千円	2,997,144千円
内訳(千円)					
国・県支出金	0	73,550	0	0	0
地方債	365,700	592,700	441,200	0	0
その他()	(149,273) 2,291,280	2,747,861	2,813,565	3,056,672	2,885,745
一般財源	(0) 111,548	123,384	99,697	108,146	111,399
人工数					
職員	22.00人	23.00人	23.00人	23.00人	23.00人
臨時職員等	1.00人	2.00人	2.00人	2.00人	2.00人
②概算人件費	(0千円) 178,456千円	193,470千円	193,470千円	193,470千円	193,470千円
①+②総事業費	(149,273千円) 2,946,984千円	3,730,965千円	3,547,932千円	3,358,288千円	3,190,614千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.27年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
経常収益を費用で除した経常収支比率は、平成27年度(104.55%)は平成26年度(103.14%)に比べ、1.41ポイント上昇した。これは、給水人口の減少などにより水需要が減少し、収益のほとんどを占める水道料金が減少したものの、動力費や修繕費の経費を節減できたことによります。	今後の事業経営については、料金収入の増収が見込めないことから、厳しい経営環境が続くことが予想されるなか、財政見直しを踏まえ、引き続き経営の効率化、合理化に努めます。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	老朽管の改良に順次努め、耐震性の向上など災害に強い水道施設整備に努めました。経費節減などによる効率的な経営に努めました。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 該当しない	

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(改善)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関する主な市の計画 名張市水道事業基本計画(水道ビジョン)
近年の節水意識等の高まりや人口減少などにより、料金収入の増収が見込めないことから、経費節減による経営努力を引き続き進めるとともに、安心安全な水の供給に努めます。	